

菱田現地に用水粉碎の「砦」構築を決定

9.16-10.20 三里塚に総決起しよう！



日刊 勤労千葉

85. 8. 28

No. 2024

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

8月25日、三里塚芝山連合空港反対同盟主催の「8・25成田用水着工阻止・二期工事粉碎、菱田現地総決起集会」が、千七百名の労働者・学生・市民の結集のもとかちとられた。8月17日、成田用水工事の入札、この秋にも東峰十字路裁判の反動判決が出されるという、反対同盟分断・解体
二期本格着工情勢が切迫する中で闘われた集会で反対同盟は、菱田現地に砦を築き、成田用水を断固阻止する決意を高らかに宣言した。この反対同盟の決意に込め、9・16・10・20決戦の三里塚へ総決起し、二期阻止・反動中曽根内閣打倒の巨大なうねりを創り出そう。

成田用水粉碎で

二期阻止を

北原事務局長
勤労千葉はこの日、反対同盟の要請に込め、マイク・ロバース3台、乗用車を連らね緊迫した現地へかけつけた。

集会は13時30分、芝山町議・鈴木幸司さんの「今日の集会は、これからの勝利の展望を切り拓く重大な闘いだ。用水

推進をはかる脱党派、機動隊の弾圧を許さず断固闘おう」との主催者代表あいさつで始まった。

つづいて菱田現地を代表して荻原勇一さんから「二期阻止の決意を示す立て看板を今朝天神峰に建てた。同盟一丸となって用水粉碎を闘う」との決意をうけた。

反対同盟を代表して立った北原事務局長は、8日17日政府・公団が、秘密裏に成田用水の入札を行ったことを怒りをこめて弾劾するとともに、入札企業の名も公表できず、公開であるべき入札も極密裏に行なわざるをえないことで、用水の不正義性が逆に満天下に明らかになったこと。すなわち、この間の闘いで、ここまで政府・公団を追いつめ、勝利の展望を切り拓いていることを明らかにした上で、「午前中の役員会で成田用水阻止へ向け、現地に砦をつくり連日監視体制をつくることを確認した。二期はすでに始まっている。成田用水阻止闘争を軸に総決起しよう」と力強い訴えを行った。

敷地内外は団結して闘う

—小川嘉吉さん—

敷地内反対同盟を代表して立った小川嘉吉さんは「再び戦争へ向かおうとする中曽根を倒す闘いこそ三里塚の闘いだ。敷地内・外団結して必ず勝利する」と烈々たる決意を明らかにした。



続いて、徴役十年という許しがたい反動求刑をはねのけ闘いぬいている秋葉義光さんが、東峰裁判被告3名を代表して立ち「被告団は、3名をはじめとして全員無実だ、3名は同盟・支援と決意を一つにしていかなる弾圧をばねのけ闘いぬく」と権力・裁判所への怒りをこめた決意を明らかにした。さらに、反対同盟弁護団の一瀬弁護士、婦人行動隊の郡司とめさん、青行隊の北原健一さんが立ち、用水粉碎へ最先頭で闘いぬく決意を明らかにした。

国鉄—三里塚を基軸に中曽根を

打倒する —山口副委員長—

共闘団体のあいさつの最初に立った北富士・忍草母の会の天野事務局長は、11月の日米合同演習強行粉碎へ断固闘いぬく決意を明らかにした。

続いて立った勤労千葉山口副委員長は、9月9日からの第10回定期大会で、いよいよ正念場を迎えた三里塚と国鉄を基軸に反動中曽根内閣打倒へ向けた断固たる方針の確立をめざしていること、9・16・10・20総決起で共に人民の未来を切り拓こうとの熱烈な決意を明らかにした。このあと、東京実行委員会、婦人民主クラブ全国協議会、山谷労働者などが次々と立ち共に闘う決意を明らかにした。

集会後、機動隊の不当弾圧をはねのけ、辺田・中郷地区をデモ行進し集会を終了した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！